

## 第4章 運営マニュアルの修正

現地本部及び帰宅困難者一時滞在施設の運営体制を強化するため、現行体制における課題および対応策を検討し、「東西現地本部運営マニュアル」及び「帰宅困難者一時滞在施設運営マニュアル」を修正する。主な課題には、現地本部の役割の明確化、外国人対策の強化、新型コロナウイルス等の感染症対策がある。

東西現地本部運営マニュアルについては、過去の地震防災訓練等の課題を整理し、帰宅困難者一時滞在施設運営マニュアルとの整合を図りつつ、主に以下の点に対応する。修正は次年度も継続して行う。

- ・ 現地本部の役割の明確化と運営体制の見直し
- ・ 感染症の蔓延状況を踏まえた一時滞在施設の開設方針や感染者対策に関する情報の追記
- ・ 最新の帰宅困難者一時滞在施設の整備状況の反映
- ・ 新宿駅周辺における災害時の情報連絡体制の見直し
- ・ 感染症対策を踏まえた本部運営および備品・資材の見直し

また、帰宅困難者一時滞在施設運営マニュアルについては、主に昨年度訓練の課題への対応、感染症対策および外国人対策に焦点をあてた。運営マニュアルには、一時滞在施設の運営に係る8つの手順（①施設の安全確認、②運営要員の参集、③帰宅困難者の受入準備、④施設の開設・受入、⑤帰宅困難者対応、⑥施設の運営状況等の現地本部との共有、⑦交通機関の再開状況の共有、⑧閉鎖準備・閉鎖）を示しているが、**図 34** に示すような感染症対策に配慮して活動を行うこと等を盛り込んだ。修正した運営マニュアルは本報告書の参考資料に掲載した。

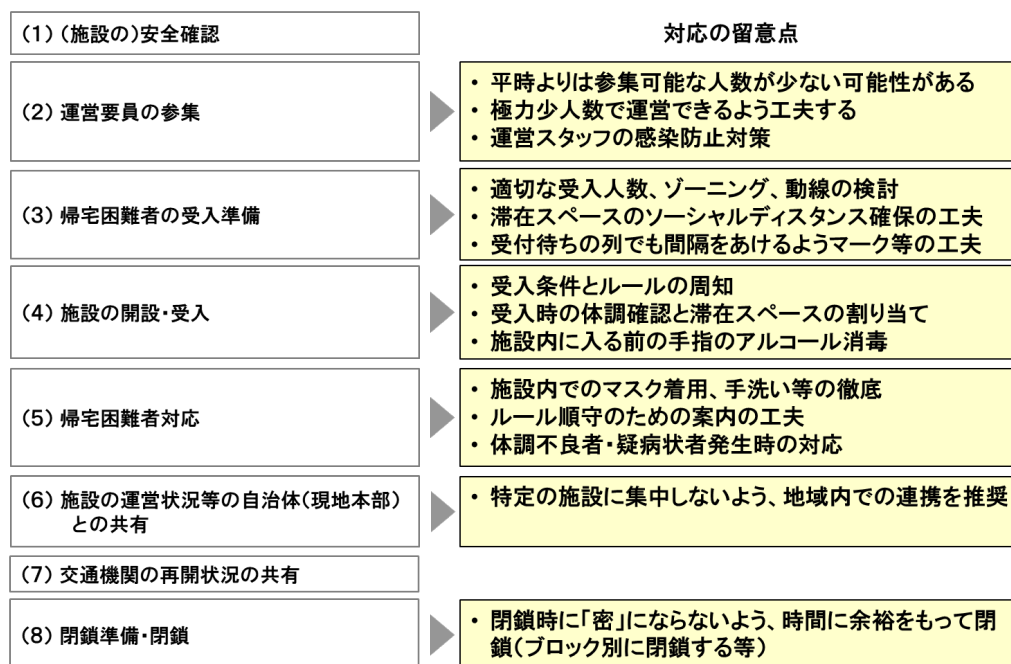


図 34 一時滞在施設運営の流れと対応の留意点